

人吉高校定時制図書室便り

9月号

人吉高等学校定時制
令和6年9月27日(金)
担当 吉元

夏休みが明けた8月26日から1週間、校内読書週間を予定していましたが、台風の影響で、後半は中止になってしまいました。普段の生活の中で読書をする機会は、意識的に設けないとなかなかないものです。本を読む目的として「本そのものを楽しむため」か「本を読んだ後の活動のため」と大きく2種類を紹介しました。ぜひ前者の本そのものを楽しむ時間を、高校生のうちに作ってほしいと思います。



新書紹介



スクールライブラリー助成事業で73冊、通常の予算で9冊の計82冊が新しく入りました。7月には寄贈もあり、今年度に入ってすでに100冊以上の新書が入っています。また貸出冊数も現時点ですでに150冊を超えています。昨年度の182冊を余裕で超える勢いで皆さんが読書に親しんでいることがわかり、とても嬉しいです。

『裸一貫！ つづ井さん』



つづ井さんはもちろん、友達もみんな「オタクで腐女子」のコミックエッセイです。推し活をしているときの尊さを共感しながら、生きていく上で気楽に楽しんで生きているつづ井さんを見ていると勇気もらえる気がします。全5巻揃えました。マンガで読みやすいので1冊手に取ってみてください☆

『1年1組 せんせいあのね』

幼稚園や保育園での園児の発言をまとめることが流行していたようです。この本では、小学1年生と担任の先生との交換日記「あのね帳」から生まれた言葉を、絵本作家のヨシタケシンスケのイラストとともにまとめられています。1年生ならではの視点の面白さ、1年生の語彙力で一生懸命に話そうとしている子供たちの言葉は、読んでみるとほっこりした気持ちになります。ぜひ、お家の人とも一緒に見てほしい一冊です。

